

共生社会の実現に向けて

東京 2025 デフリンピック

2025年11月15日～26日
日本初となるデフリンピックが開催されます。
(デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味。国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」)



第1回は、1924年にフランスのパリで開催され、日本開催の今年は100周年です。8月16日、スポーツセンターで応援イベントが開かれ、講演会も行われました。日本手話と国際手話なども話題となりました。

そこで学んだことは、「デフリンピック開催地では社会が前進する」ということでした。デフリンピックはあくまでも通過点であり、その後の共生社会の実現に大きな効果が期待されています。



「障害」とは人ではなく環境

市内にも、聴覚に障がいのある方が大勢いらっしゃいます。でも、なかなか外からは気づきづらく、困りごとや生きづらさを抱える当事者からは「聞こえる人との距離を感じている」というお話もありました。環境を変えていくことで『障害』という言葉が無くなると良いですね。

手話は言語

手話言語は、音声言語である日本語と同じ一つの言語です。いま、市議会で「手話言語条例の制定を求める請願」の審議が行われています。くらしの中における情報保障は欠かせません。身近な人の困りごとから、社会を大きく前進させることにつながります。

この機会に、手話言語のことをもっともっと学び広めていきたいと思いました。

平和のうたを歌おう

うたごえは平和の力

8月は、平和について考える機会がたくさんありました。私が20歳の頃、平和運動とつながったきっかけが“うたごえ運動”でした。歌を通じて、関心は労働運動にも発展していきました。振り返ってみれば、当時は歌う楽しさやピアノを弾く楽しさが勝っていたように思います。最近、それらの歌がいまの活動に結びつき、時には歌に励まされていることを実感しています。

平和だからこそ歌えるのであって、自由にうたが歌えないような社会にしたいはありません。そのためにも、うたごえの輪を広げていきたいと思っています。



日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らない政党です。企業・団体献金の全面禁止と政党助成制度の廃止を一体で行うことが、金権腐敗政治を無くす道だと考えます。

東村山民報 2025年9月号外 山田たか子活動紹介です。
◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

東京都が高齢者・障がい者対象 エアコン購入助成へ

2024年、熱中症により屋内で亡くなった方の内、エアコン未設置・不使用の方が8割越。日本共産党都議団は、購入・設置費用や電気代支援を求める申し入れを重ねてきました。

65歳以上の高齢者や障がい者が、省エネルギー性能の高いエアコンを登録販売店で購入する際、8万のゼロエミポイント(8万円相当)分を値引きされます。ぜひご活用ください。

設置場所 自らの居住地に限る

持ち物 65歳以上を証明できる本人
確認書類、障がい者手帳

対象販売時期 2025年8月30日～
2026年3月31日(予定)



❖山田たか子 ❖いま しんぶん赤旗 がおもしろい!

HP



日刊紙 月3,497円

日曜版 月990円

(日刊紙 電子版 月3,497円)

お申し込みは山田までどうぞ^^)

